

気候変動対策で最高評価

— “気候変動への対応に関する調査” で最高評価のAリストに認定—

戸田建設(株) (社長：今井雅則) は、環境評価を行う国際的な非営利団体 CDP (本部：ロンドン) から、最高のランクである「The Climate A List 2016」 (以下：Aリスト) として認定されました。当社は気候変動対応において特に優れた活動を行っている世界のリーダーとして認められたこととなります。

これは、我々が日々取り組んでいるCO₂排出量削減活動や、環境保全活動が高く評価されたものと考えています。

【CDP Aリスト認定について】

CDPは、世界の上場企業約5,000社 (内日本企業約500社) を対象に、温室効果ガス排出量削減などの気候変動問題への取組みを調査し、その情報を開示・評価しています。

その結果は、世界の機関投資家が、環境対応に積極的な企業を選んで投資するための根拠として使われます。

2016年度は、世界では193社、日本では22社が排出削減活動などの気候変動緩和対策が特に優秀な企業として、Aリストに認定されました。当社はその1社です。

10月25日 (火) には、(株)東京証券取引所 東証ホールにて、「CDP 2016 日本報告会」 (CDP事務局主催) が行われ、当社からは取締役専務執行役員 戸田 守道が出席し、当社の環境に対する取組みについて説明を行いました。



【戸田建設の気候変動への取組みについて】

当社は、2010年にゼネコンとして初めて環境省からエコ・ファースト*企業として認定されました。温室効果ガス排出量削減については、国内全現場も含めて1990年比で50%削減する「2020年目標」を定め、それを環境大臣に約束しました。目標の達成状況は毎年、環境大臣に報告しています。

2014年からは、エコ・ファースト推進協議会の副議長を務め、協議会の活発な運営を支え、日本国が気候変動に関して国際的にコミットする数値目標達成をサポートしております。

さらに当社は持続可能社会の構築に向けて、再生可能エネルギーの事業化を重視しております。その中の最も代表的な取組として、長崎県五島列島での国内初となる海に浮かぶ風力発電所のプロジェクトがあります。

このプロジェクトで、大海原を吹き抜ける風を波間に浮かぶ風車が受け止め、そのエネルギーを一般家庭に届けるという夢が実現しました。

また、この施設で発電した電力と、雨水を使い、水素をつくりだし、それを燃料とした燃料電池船を日本で初めて建造しました。自然の恵だけで動く夢のような船を実現させました。



図：水素を燃料とした燃料電池船

今回の評価を受け、今後も当社の独自性のある環境技術、ノウハウを生かし、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

*エコ・ファースト制度：環境保全に関する業界のトップランナー企業の行動を更に促進していくため、企業が環境大臣に対し、地球温暖化対策など、自らの環境保全に関する取組を約束する制度です。